

第63回 福島県発明展



展示期間 平成 29 年 11 月 18 日（土）～11 月 19 日（日）

会 場 福島県ハイテクプラザ 1F 多目的ホール

表彰式典 平成 29 年 11 月 18 日（土） 午後 2 時より

表彰会場 福島県ハイテクプラザ 1F 多目的ホール

（主催）福島県 一般社団法人福島県発明協会

（後援）東北経済産業局・産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所・福島県教育委員会・

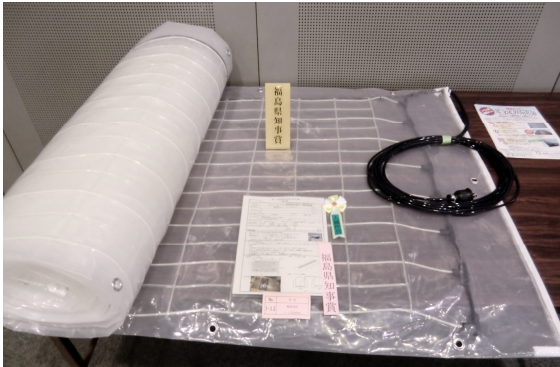
公益社団法人発明協会・日本弁理士会・福島県工業クラブ・(公財)福島県産業振興センター

(株)毎日新聞社福島支局・(株)福島民報社・福島民友新聞(株)・(株)日刊工業新聞社・NHK 福島放送局

(株)ラジオ福島・ふくしま FM・福島テレビ(株)・(株)福島中央テレビ・(株)福島放送・(株)テレビユー福島

受賞作品紹介

【一般の部】



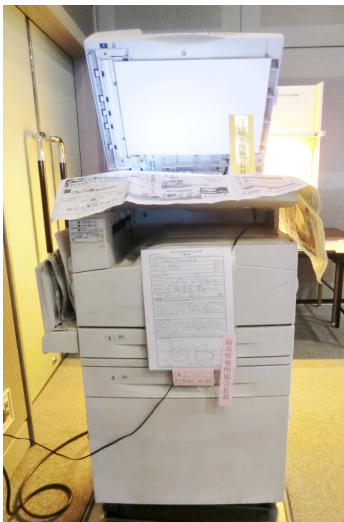
受賞名：福島県知事賞

作品名：ビニールハウス用融雪装置及び暖房装置

受賞者：株式会社ニーズプロダクト

■発明の効果■

- ①袋状体内の空気層が急速に且つ均一に加熱・放出され効率よく融雪できる
- ②ネット状発熱体を袋状体内への収納により、熱ロスが減少し消費電力が軽減される
- ③専門業者による施工に依らず設置が可能である。
- ④本装置をハウス内に設置することで、暖房費用が70%削減される



受賞名：一般社団法人福島県発明協会会長賞

作品名：原稿透かし照明付き複写機

受賞者：後藤 定一、和田春信

■発明の効果■

複写機（原稿台（ガラス面））の内部下あたりに光源を設置し、原稿カバーが開いている時のみ光を投射し原稿台（ガラス面）全体を明るく発光させ、又複写機がコピーしようとしているA3やB4の大きさ（今回はA4の大きさのみ）を原稿カバーが開いている時のみ、レーザー光線等で原稿第（ガラス面）の下方から発生させ、原稿を透かしてわかるようにした。ガラス面にのせた原稿の裏側の内容が透けて表上からボヤけて見えるのと、コピーしようとする範囲が透けてわかるので、大きな原稿でも位置合わせが簡単に出来る。



受賞名：国立研究開発法人産業技術総合研究所

福島再生可能エネルギー研究所長賞

作品名：消臭機能を有する塗料

受賞者：株式会社エコハイテックコーポレーション

■発明の効果■

本塗料は浄水発生土を主原料とする消臭剤を微粉碎し、塗料に混合したものである。建物などの塗料に、本塗料を用いることで、その空間の消臭に効果を発揮するものである。喫煙室への導入事例では、たばこの臭いが無くなり、施主から好評を得ている。

[施行用途]喫煙室、住宅の壁、トイレの壁、玄関の壁、下駄箱内部など、臭いの気になることろへ、手軽に施工できる。

[小学校、中学校、高等学校の部]



受賞名：福島県知事賞

作品名：メジャー革命

受賞者：田村市立大越中学校 1年 猪狩 来騎

■作品の説明■

【きっかけ】メジャーを支える手と、線や印を書くために使う手と両手がふさがってしまうので、片手で動かすことはできないかと考えたからです。

【工夫した点】シャーペンを動かないように固定した所です。

【使い方】①測りたいものに出っ張りを引っかける ②長さを決める

③シャーペンで線を引く

【便利な点】片手だけでメジャーで測り線が引けることと、もう片方の手で設計図を持って見ることができる。



受賞名：福島県知事賞

作品名：これで安心! お出かけチェッカー

受賞者：福島市立三河台小学校 4年 深田 翠乃

■作品の説明■

外出する時に自分一人で戸じまりをすると、どうしても忘れてしまう所がある。戸じまりや消灯を習かん化して、安全な生活をするために何かいい方法はないかと考え、安心チェッカーを作った。

①一番上の仕切り板にかぎを保かんする

②それぞれの項目の点検を終えたら、仕切り板を引く

③次の仕切り板にかぎが落ちる

④すべての仕切り板を引き出すと、1番下にかぎが落ちる。最後に玄関のせじょう。

・戸じまり、消灯の点検が完ぺきにでき、防犯対策になる

・子どもだけでなく、高れい者に向けても効果がある



受賞名：東北経済産業局長賞

作品名：魚の鱗取り

受賞者：いわき市立小名浜第一中学校 1年 本間 泰河

■作品の説明■

魚を料理する時に魚の鱗を取るのに非常に苦労したため、簡単に取れる方法がないかを考えました。ペットボトルのキャップだとお金もかからず、便利に使用できました。

キャップはプラスチック製なので、魚を傷つけたり、傷めたりすることなく調理できました。



受賞名：一般社団法人福島県発明協会会長賞

作品名：Crow せんカラス撃退機

受賞者：福島県立郡山北工業高等学校 2年 根本 尚弥

■作品の説明■

カラスがゴミあさりをするため、ゴミ集積所近辺がゴミだらけにされる問題があります。今回は、聴覚と視覚に訴える装置を製作しました。約 20 分毎にカラスの悲鳴と苦しむ姿が演じ、その場所が危険と思わせます。ソーラーパネルを使用した独立電源になっており、夜間は作動しないように光センサーを搭載しています。音源はマイクロ SD の MP3 データなので、データを簡単に入れ替えることができます。悲鳴の種類を変えることで、イノシシや鹿などのほかの動物にも使用できます。この機材を学校で設置(数時間)したところ、学校を根域にしていたカラスがしばらくの期間、姿を見せませんでした。



受賞名：一般社団法人福島県発明協会会長賞

作品名：安全・安心靴ヒモほどけません。

受賞者：南相馬市立原町第一小学校 6年 小山 諄

■作品の説明■

靴ヒモのリボン結びの輪の部分の両サイドからリボン型のスポンジにかけて中央の所まで入れ、ヒモを引きます。輪ではない方のヒモ、今引いたヒモが長い時はリボンの型のスポンジの両サイドに横に切込みがあるので、差し込んでかけることができます。かけることで靴ヒモがぶらぶらせず安定します。スポンジを使用することで弾力性があり、サッカーなどのスポーツの時でも、衝撃がなく痛みもなくスポーツができます。



受賞名：国立研究開発法人産業技術総合研究所

福島再生可能エネルギー研究所長賞

作品名：リハビリ用太もも運動入力装置 MoMo コン

受賞者：福島県立郡山北工業高等学校 3年 関根 巧也

■作品の説明■

腿上げ運動の動きでストリートビュー(Google 社)を動かすことで、疑似散歩をすることができます。ただ単調な腿上げ運動はトレーナーに励まされても辛いもので、もっと楽しい訓練に変えられないかと考えました。スイッチを太腿の下に敷いて使うため、薄く丈夫で確実に動くようにスイッチを製作しました。パソコンとインターネット回線があれば無料で使えるストリートビューを使うことで、低コストで誰でも楽しく使える運動器具になります。



受賞名：国立研究開発法人産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所長賞

作品名：ゴムこうかん、かんたんリング

受賞者：田村市立常葉小学校 3年 松本 紗葵

■作品の説明■

紅白ぼうしのゴムは、すぐに伸びてしまったり、よごれてしまったりします。そのたびに、お母さんがゴムを取って、新しいゴムを取りかえてくれますが、とても大変そうでした。ゴムを交かんするときに、自分ではぬえないので、かんたんに交かんしたり、短くしたりできるものはないかと考えました。

・紅白ぼうしのはじに取りつけたリングに、ゴムを通すことで、ゴムをかんたんに交かんすることができます。短くしたいときには、長さの調整もできるので、とてもべんりです。

・リングをつけたままで、せんたくもできるもで、一度リングを取りつければ、何度でも使うことができます。運動会の前に、伸びたゴムをつけかえる手間がなくなり、お母さんも楽になります。